

あおば

第1号

スクールカウンセラー 小山智朗

ぼくは、スクールカウンセラーの小山智朗（こやまともあき）です。

みなさんに会えることになって、とてもうれしいです！

じこしょうかいをしますね。しゅみは、サッカーと本ほんを読むことよです。みんなは何なにかな？

なやみは、ゆだんするとすぐに太ふとることと、すぐく忘れわすっぽくなってきたことです・・・。

小学校しょうがっこうのとき大だいすきだったのはドッジボールと給食きゅうしょくで、おかわりチャンピオンでした！

きれいだったのは、鉄てつぼうで、鉄ぼうをする日は「いやだなあ・・・雨あめがふらないかなあ・・・」

といのっていました。そんな先生せんせいですが、よろしくおねがいします！

ここで、**クイズ!**

1. 「スクールカウンセラーって、どんな先生せんせいでしょう？」

こたえ **なやみごとなんでもそうだん** 先生です。

「友だちともにいやなことを言いわれる・・・」「友だちができない」

「よくイライラする」「いじわるしてしまう・・・」

「学校がっこうがたのしくない・・・」「なんだかつかれる」

どんなしんぱいごとでもかまいません。



2ばん「いつ行けばいいの？」

こたえ **すい**
水ようび (2:00~6:00) に来てきいます。(6/3、10、17)

3ばん「どこに行けばいいの？」

こたえ ^{よこ}の横の「**そうだしつ**」です。

どんな先生か見^みにきてね。



保護者の皆さまへ

スクールカウンセラー（臨床心理士）の小山です。林小学校以外では、大学生相手のカウンセリングと講義をしています。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、保護者の皆さまは、カウンセリングにどんなイメージをお持ちでしょうか？

私は、カウンセリングは「漢方」のようなものだと思っています。効き目はすぐにはありませんし、少しばかり苦みもあります。でも、続けていると根本的に問題が解決していきます。1人で抱えていた重荷を降ろすと、ホッと楽になれますし、悩みの渦の中から距離を取れ、状況を冷静に振り返り、対処する元気が出てきます。

また、カウンセリングは「弱い人の行くところ」というイメージがおありかもしれませんが、実際は違います。人のせいにしたり、真剣に考えられない「弱い人」ではなく、子どもさんの問題に心を痛め、なんとかしようとする「強い人」が来られています。

予約が優先ですが、予約が入っていない場合はすぐお会いできます。ご遠慮なくお申し込みください。

☆相談日 : 水曜日（6/3、10、17） 14:00～18:00

☆予約先 : 学校にご連絡ください。

オマケ：子どもの心・大人の心を理解する本

河合隼雄先生は、京大教授を定年後、文化庁長官となり、日本の臨床心理学の発展に多大な貢献をされた方です。2冊ご紹介しておきます。

➤ 「こどもの宇宙」岩波新書

面白くて読みやすいけれど、子どもの心に広がる「宇宙」を旅できます。この本を読んで、私はカウンセラーになろうと決めました。

➤ 「こころの天気図」PHP 研究所

難しい言葉は一切使わず、軽妙な語り口なので、スルスルと読めてしまいます。でも内容はとても深く、しかも読むと元気になれます。